

## マレーシア海外教育旅行現地調査報告

札幌新川高等学校 教諭 追久保いつみ

### 視察内容

2016年7月30日（土）から8月3日（木）の5日間、マレーシアに滞在した。訪問先は、首都クアラルンプール市内、近郊の農村でのホームステイ先、マレーシア政府観光局、マラヤ大学、英語学校協会、日本大使館などである。マレーシアの実質滞在時間は3日間であったがとても充実した研修であった。



### 視察目的

今回の私の視察目的は、「見学旅行の際、マレーシアではどのようなことを学ぶことができるのか、それらの経験は高校生にとって充実したものとなるかどうか」である。

我々教員にとっても、マレーシアはどのような国なのかは分からないことが多く、不安も多い。また大人数の生徒を引率する以上、治安、交通の利便性、宿泊施設、食事、訪問施設など、観光客用にきちんと整備されているのかが非常に気になる場所であった。また、わざわざお金をかけてマレーシアに行くのであるから、他の国との違いは何か、マレーシアに行ったからこそ学べることは何か知りたいと考えてこの研修に参加した。

### 教育旅行地としてのマレーシア

実際にマレーシアに行ってみての感想は、見学旅行の訪問先として適していると感じた。安全で、交通機関も整っており、ホテルも清潔感がある。食事日本人の私たちにとって大きな問題はない。さらに市内はさまざまなビルが立ち並び、大都会だ。物価も日本の3分の1で安い。そして、少し車を走らせれば、村落に行くことができ、そこではホームステイをしながら自然を楽しむことができる。

この研修を通して私が考えるマレーシアの1番の魅力は、多民族国家であるということだ。ここが日本と大きく違うことであり、他の国とも差別化できるところだ。町を歩いていけば、中国語、マレー語、英語などの言語が溢れている。中国に行かなくても、中国の文化が、インドに行かなくてもインドの文化を、マレーシアに行くだけで、一度に体験することができる。食べ物も宗教も服装もそれぞれみんな異なっている。どこの国に行く時でもそうだが、海外で最初に学ぶことは、文化の違いである。初めて触れる文化にカルチャーショックを受け、日本人としての自分を見直すきっかけにもなる。高校生の多感な時期にこれらの経験ができることは、今後の進路にも良い意味で大きく影響していくこととを感じる。

もちろん、英語を学ぶ環境も整っている。大学では英語での授業もあり、語学学校も充実している。さらには親日で、あたたかく迎えてくれることもとても安心できる。

課題としては、大人数の生徒を引率したとき、空港での入国審査、ホテルの安全、移動がスムーズにいくのかどうか、教員側の引率に際しての知識や経験などが挙げられる。また、観光はいいが、長期間、生徒が英語を学ぶためにマレーシアに行くかといったら、その可能性は低いと感じる。やはり生徒は、英語は英語圏の国で学びたいという気持ちが強い。人生で初めて行く国にマレーシアを選ぶ生徒は多くないと感じる。教員側が興味を持たせる工夫が必要だと感じる。

#### 新川高校の生徒（159人）のマレーシアに対する考え

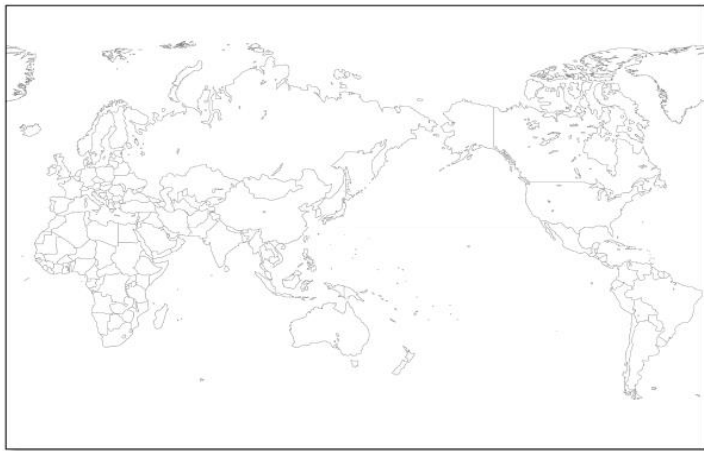
マレーシア帰国後、生徒はマレーシアのことをどう思っているのか、興味があるのか疑問に思い、夏休み明けの8月17日（水）、18日（木）、19日（金）の3日間、英語の授業において、マレーシアについて授業を行った（3年生79人、2年生80人）。授業では、写真やビデオを見せながら、プリントを配布し、以下の質問に答えてもらった。

プリントの質問は以下の4問である。これらの質問をしながら授業を行った。以下に生徒の回答を載せる。

- 質問1. マレーシアはどこにある？ マレーシアを塗りつぶそう。
- 質問2. マレーシアのイメージは？（言語、宗教、食べ物、通貨は）
- 質問3. 授業を終えて、マレーシアにどんなイメージを持ちましたか？ 授業前と変わりましたか？
- 質問4. マレーシアは多民族国家であり、特に都市部においては英語が多く使われています。マレーシアで英語を学ぶ環境も整っています。もしチャンスがあればマレーシアに留学してみたいと思いますか？

質問1. マレーシアはどこにある？ マレーシアを塗りつぶそう。

生徒に世界地図の白地図を配布し、マレーシアの場所を塗りつぶしてもらった。



結果、マレーシアの位置を正確に答えた生徒は159人中0人であった。西側のみをマレーシアとする生徒が多く、また、シンガポールと勘違いしている生徒も多かった。フィリピンやインドネシアを塗る生徒も多かった。東南アジアということは理解しているようだが、正確な位置は曖昧なようだった。

質問2. マレーシアのイメージは？（言語、宗教、食べ物、通貨は）

地図を塗りつぶした後、マレーシアについて何も情報を与えずに、マレーシアのイメージを聞いた。マレーシアには以下のようなイメージがあるようだ。

暑い、日焼けしそう、民族のイメージ、静かそう、海、きれい、シンガポールに似ている、マンゴー、米、手でご飯食べる、スコール、建物低い、仏教、ヒンドゥー教、カレー、治安がよさそう、自然に囲まれている、都市部は洗練、郊外は大自然、大きなカブトムシやクワガタがとれる、密林、湿度が高くてよく雨が降っていそう、バナナ、バドミントン、ゾウ、マーライオン、なにもない国、食べ物おいしくなさそう、マレーシアに対して認識がなかった、目立った観光名所がない、発展途上国のイメージ、怖そう、戦争、田舎、少し汚い、茶色っぽい、どこにあるか分からない、特にイメージはない

暑い、あまり発展していない、衛生面が整えられていないのではないかという解答が非常に多かった。上記のことから、マレーシアに対しては、ぼんやりとしたイメージしか持っていないことが分かる。東南アジア全体がごちゃ混ぜになっているようだ。

質問3. 授業を終えて、マレーシアにどんなイメージを持ちましたか？ 授業前と変わりましたか？

授業では、25分間ほど、マレーシアの宗教、お金、食べ物、文化などを、研修の際の写真を交えて説明した。その後、マレーシアに対してどのようなイメージを持ったのか回答してもらった。

- ・思ったよりもきれいで、近代的な中にも、伝統的な文化もあって、一度行ってみたいと思った。
- ・こんなにキレイなことに驚いた。マレーシアはインドとの関わりが深そうなので興味を持った。ごはんもおいしそう。
- ・カラフル、きれいな町、服装が派手（色）、日本と文化が全然違う。
- ・思っていたよりもお金のある国なんだと思った。意外に栄えていた。
- ・イスラム教とは知らなかった。物価が日本の3分の1なのもすごい。
- ・すごくきれい。町という感じと村という感じがまざっている。
- ・みんな仲良さそう。
- ・今までマレーシアに対してイメージがなかったし、場所もあいまいだったけど、授業を終えて良い印象をもつことができた。
- ・都会だから安心。旅には向いてる。
- ・多民族国家だということが分かった。いろいろな民族が混ざって住んでいることに驚いた。英語が話されているイメージがなかった。
- ・日本と文化の違いが大きくて楽しかった。伝統的で自然が多く、行ってみたいくなった。親近感がわいた。
- ・ホテルがキレイで、旅行に行きやすい環境だということが分かった。
- ・（結婚式の様子をみて）にぎやか、カラフル、陽気で楽しそう。
- ・アジアっぽい雰囲気と発展した雰囲気が融合している感じ。
- ・想像していたイメージと変わらなかった。
- ・きれいにみえたけど、暑そうだから虫がたくさんいそう。

「意外にきれい」「意外に都会」という解答がとても多かった。結婚式のビデオをみせたが、それがとても印象に残った様子であった。

質問4. マレーシアは多民族国家であり、特に都市部においては英語が多く使われています。マレーシアで英語を学ぶ環境も整っています。もしチャンスがあればマレーシアに留学してみたいと思いますか？

最後には上記の質問に、「はい・いいえ」で答えてもらった。この質問に対して、全生徒159人中、半数以上の98人の生徒が「はい」と答えた。授業前、マレーシアのことは何も興味がなく、何も知らなかったという生徒が多い中で、この結果は驚きであった。

重要なことは、ここで持った興味を実際に行動に移すことである。生徒の中には、マレーシアに限らず、海外に興味はあるけど、1人で行くのは勇気がいる、怖い、今は部活を優先したい、金銭面、などの理由があるためなかなか実行に移せないでいるという意見があった。興味を持つことと、実際にいくこととは大きく違うということである。確かに、日々新川高校の生徒と接している中で、積極的に海外に行きたいと思っている生徒は少ないように感じる。また北海道から出たくないという気持ちも強い。今回の授業を通して、生徒が少しでも海外に目を向けてくれれば嬉しい。海外に目を向けるきっかけがマレーシアであればとても嬉しいことだ。そのきっかけを作るのは我々教員の役目だと今回の研修で感じた。

最後に、このような研修に参加できとても勉強になりました。ありがとうございます。